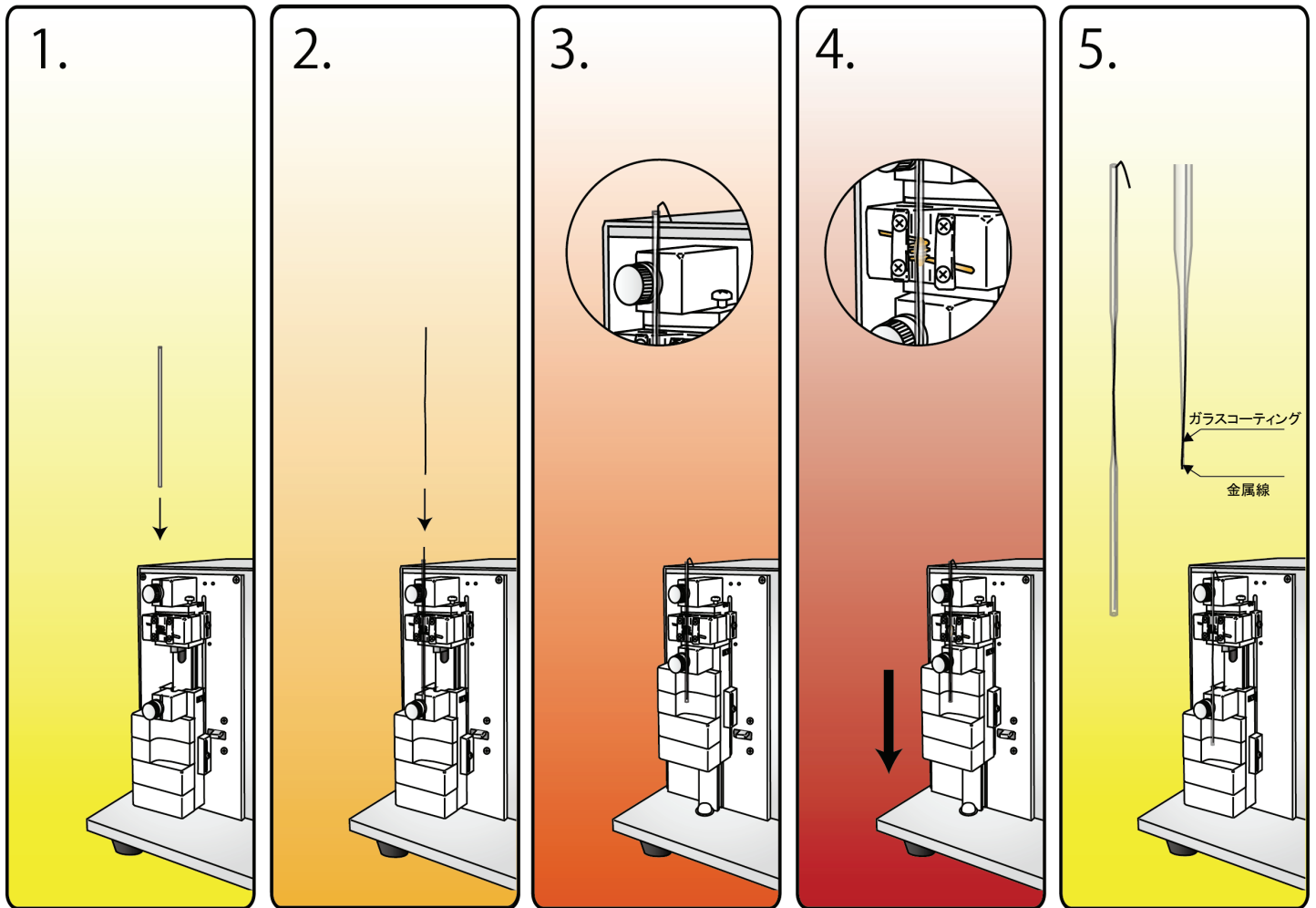


## マイクロピペットプラーの変わった使い方

最近工業系で、マイクロマニピュレーターとガラスコーティングされた極細の金属電極を用い、ICの足などのような非常に細い部位の電位を測りたいというお話が増えています。

今回のウェブニュースでは、時々弊社ショールームで行われる内容で、イレギュラーな使い方ですがプラーPC-10を使い、ガラスコーティングされた極細の金属電極を作製する方法をご紹介します。



1. ガラス管をプラーPC-10 にセットします。
2. ガラス管の中に金属線を通します。
3. ガラス管にセットした金属線の一番上の部分に”ひっかかる”ように金属線を指先で曲げます。
4. PC-10 の START ボタンを押し、針作製を開始します。ポイントとしては、ガラスが多く溶けるように、若干温度を高めに設定します。ヒーターの熱がガラス管を熱し、重りの重さでガラス管を引きます。
5. ガラスでコーティングされた金属線入りの電極が完成します。上下が金属線で繋がっているので、ニッパー等でカットして使用します。

出来合いの電極やプラーなども最近では色々と販売されていますが、自分で針を作成されると、アイデアによって色々試す事が出来ます。皆様も是非お試しください。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。